

集合型・新規セミナー

2026年11月10日(火)

DX活用を見据えた 設備保全の基盤づくりセミナー

講師　吉田 信行

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会　技術アドバイザー
(元・富士フイルムエンジニアリング株式会社　取締役)



1984年に富士フイルムに入社後、国内外の設備設計・建設業務に従事。1994年から10年間はオランダ工場に駐在し、設備の安定化や保全体制構築を現地メンバーと行い、安定生産と技術力向上に貢献。2006年に富士フイルム4工場の保全グループを一つにまとめた保全技術部の発足をきっかけに、国内外の富士フイルムグループ会社に対して保全改革を推進し、設備安定化と保全費削減に寄与。2014年に富士フイルムから分社化した富士フイルムエンジニアリングでは、グループ内の保全活動のみならず、社外へも保全支援を提供していく活動を推進し、保全改革の考え方を広めた。

こんなお悩みありませんか？

- 設備保全にDX技術やAIを導入したいが、そもそも何を目指しどこから始めればいいのか
- 保全員不足のなか、育成や技術技能伝承、また保全業務の製造との役割分担を進めたい
- 設備の安定稼働と保全コストの最適なバランスの取り方について、考え方を知りたい
- 全ての設備を漏れなく把握し、保全する仕組みがなく、保全活動に抜けが生じている

セミナーの概要

設備保全の基本 → 保全体制作りと人材育成 → 保全方針と計画保全 → まとめ

一方的に聴講するだけではなく、対話型で実践を学ぶ！

受講対象者

- 保全業務の仕組みづくりを学びたい方
- 保全部門の管理者を目指す方



保全管理システムや設備を監視するツールをただ導入するだけでは、設備保全の成果は生まれません。
保全の基本を理解し、仕組みを整え、情報を活用できる基盤をつくることが重要です。
本セミナーでは、設備保全の基本から、保全方針・保全体制・人材育成の考え方、設備情報システムやDX技術、AIの有効活用まで、自職場の実態と比較しながら、保全活動を学べるように構成しています。

学べること

目的を理解して
デジタル・AI（手段）を活用する

人手不足下での
保全の体制づくりを考える

- 設備保全の基本の理解と、安定稼働とコスト最適化の両立とは？
- 製造部門との協働、保全体制、人材育成の進め方
- CBM・TBM・BMなど、設備に応じた保全方式の選定
- 保全情報を活用した「保全の質」のレベルアップ
- 高経年化設備への対応、計画保全の構築方法

経営的視点と現場的視点の双方から保全活動を再定義

経営的視点



保全コスト、適正な予備品、人件費などを踏まえ、保全活動を経営資源の最適化という視点からも論理的に捉え直し、経営に資する保全を体系的に学びます

現場的視点



理論の解説にとどまらず、現場の課題や取り組み事例を共有し、自社の現場ですぐに活かせる実践力を養います

受講申込み規定・ご案内

1．参加料

（公社）日本プラントメンテナンス協会 正会員、事業所会員 （一社）日本能率協会 法人会員	33,000円/人（税込） （本体価格30,000円 消費税3,000円）
一般	44,000円/人（税込） （本体価格40,000円 消費税4,000円）

※参加料には、テキスト（資料）代が含まれております
※昼食のご提供はございません
●会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください。
・（公社）日本プラントメンテナンス協会
https://www.jipm.or.jp/company/memberlist/
・（一社）日本能率協会　https://list.jma-member.com/

2．参加お申込み・参加料お支払い方法



■お申込み方法
① JIPM公式WEBサイト https://info-jipm.jp/ を開く
②『セミナー情報』をクリック
③『集合セミナー』をクリック
④ 本セミナーをお選びください

●申し込みはWEBでのみ受け付けます。
FAXでのお申し込みはできません
●開催2週間前に、参加派遣窓口ご担当者様あてに請求書を送付いたします。開催後、1ヵ月以内に小会指定の銀行口座にお振込みください。なお、振込み手数料は　貴社にてご負担ください

■個人情報に関する取り扱いについて
ご記入いただいた個人情報は、当セミナーの運営・管理・資料送付、出欠の確認等に利用いたします。また、後日、当会より事業・サービス・セミナー等のご案内を送付させていただく場合がございます。
当会は、ご提供いただいた個人情報を当会のプライバシーポリシーに則って安全対策を施し適切に管理いたします。当会のプライバシーポリシー、個人情報の開示・訂正・削除等の詳細につきましては、当会ホームページ(http://www.jipm.or.jp/)をご覧ください。

3．お願い・お断り

●録音・録画に使用する機材の持込みをお断りいたします
●ご参加予定の方が当日お越しになれない場合は代理の方がご参加ください。
　代理の方の参加も不可能な場合は、下記の規程によりキャンセル料を申し受けますので予めご了承ください

※キャンセル申し込み方法はメールのみ
（いずれも土日曜・祝祭日は、下記日数に含まれません）
開催当日および7日前の取消し：参加料全額

4．お申し込み・講座内容のお問合せ先

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
普及推進部
東京都千代田区神田神保町3-3　神保町SFIIIビル5階
電話番号：03-6865-6081
（音声ガイダンス後に「3」を押してください）
E-Mail：FUKYU@jipm.or.jp

■免責事項
天災地変や伝染病の流行、受講環境、輸送機関のサービスの停止、官公庁の指示などの当会が管理できない事由により研修内容の一部変更及び中止のために生じたお客様の損害については、当会ではその責任を負いかねます。

メンテナンス新時代
公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance